



主題ひろがる・みんなちがってみんないい	保育テーマ からだ	月の歌 さんぽ・くだもの列車・おおきなうた
聖句 その人は豊かに実を結ぶ。 ヨハネ15章1節～17節		讃美歌 ♪ どんどこどんどこ ♪ かみさまはのきのこすずめまで

『その人は豊かに実を結ぶ』 (ヨハネによる福音書 15章5節)

1年の中でもたいへん過ごしやすい時期になりました。空気が澄み、遠くの山々も、月や星、花々も美しく、きれいに感じられます。天地を創造された神さまは、自然を通して御自分の存在を顕しています。子どもたちは入園、進級して半年経ちました。だんだん自立し、自我にも目覚めてきていると思います。人間は共同体・集団の中では、秩序正しく、自分のためだけではなく、隣人と共に生きなければなりません。

今月の聖句は、この部分だけ読んでよく分からないところです。「ぶどうの木の譬え」の1節です。今はぶどうの季節です。一度に、食べきれないほどの実りの豊かなぶどうの房を、ずっしりと手ごたえを感じながら食べる。そんなときにも、ぜひ思い起こしていただきたい言葉です。私たちの人生は、このように実り豊かに生きることができるという約束であります。ただ僅かな実りがあるって慰めようとするというだけではなくて、実りが豊かであることを喜ぶ。たっぷり実りに生きることができるのです。私たちは、実にしばしば自分の人生は、それほど実りが多いものとは思っていないのです。だから、実りが多きことを教えています。それは、「つながること」です。「つながる」とは、聖書では「とどまる」、「住む」、「いる」という意味です。つまり、単に横になって手を繋いでいるということではなく、一人ひとりが「家庭」で、「保育園」でそれぞれの居場所を持っているということです。なくてはならない人として、それぞれの心の中に住み、平安の内に毎日の歩みをしているということです。子どもたちは、先生やお友だちに囲まれながら、日々、自分を生かし、他者を生かすことを学んでいるのです。

ルーテル合志教会 牧師 濱田道明

0. 1. 2歳児の目標	3. 4. 5歳児の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との関りを深め、安心して過ごす。 ・全身を使ってのびのびと遊ぶ心地よさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・神さま、イエス様に愛され沢山の恵みを頂いている事を感じる。 ・友だちとアイディアを出し合ったり、試行錯誤しながら一緒に遊びを作り上げていく事を楽しむ。 ・身体を動かし、心を弾ませる経験をする。

月	火	水	木	金	土
					1
3	4	5 予行練習	6 礼拝	7 体育教室	8 わくわくデー
10 スポーツの日	11 交通訓練	12 身体測定	13 礼拝・内科健診	14	15
17	18	19 誕生会	20 礼拝	21 体育教室	22
24	25 避難訓練	26 人形劇 ナイトハイク	27 礼拝	28 小遠足	29
31					